解答: 正負の数の大小と絶対値：数直線で確かめる

MomentDesk · https://momentdesk.com/ja/practice/signed-order-absolute/

中1 数学

1. −8

   数直線で最も左にあるのは−8です。

   −8 < −3 < 0 < 5

2. 2

   数直線で最も右にあるのは2です。

   −6 < −1 < 0 < 2

3. 9

   0から−9までの距離は9です。絶対値には負の符号を付けません。

4. 0

   0から0までの距離は0です。

5. −6.5

   6.5と−6.5は、0をはさんで反対側の同じ距離にあります。

6. 3

   −4 + 7 = 3

   上がった後の気温は3℃です。

7. −3

   2 − 5 = −3

   左へ進むので、位置を表す数は小さくなります。

8. 4

   当てはまる整数は−3、−2、−1、0です。端の−4と1は含みません。

9. −2.7 < −2.3

   −2.3は−2.7より数直線の右にあります。

10. −5の絶対値 > 4の絶対値

    絶対値はそれぞれ5と4なので、5 > 4です。

11. 絶対値が小さい数の方が大きい

    負の数どうしでは、0に近い方、つまり絶対値が小さい方が大きくなります。

12. −6

    絶対値が6の数は6と−6です。条件が負の数なので−6です。

13. −4

    54 − 58 = −4

    基準より4点低いことを表します。

14. 9

    −7から0まで7、0から2まで2なので、距離は7 + 2 = 9です。

記述問題の解答・確認の観点

−12と−5では、どちらが大きいですか。数直線上の位置を使って理由を書いてください。
−5の方が大きい。−5は−12より数直線の右にある。
12と5の大小だけで判断せず、負の位置と数の大小を結び付けて説明します。

「絶対値が4の数は4だけである」という説明を直し、0からの距離を使って理由を書いてください。
4と−4の2つがある。どちらも0からの距離が4である。
正負の両方を挙げ、距離と符号を区別できているかを確認します。